

環境経営年間レポート (2024年度)



2024年 10月10日発行
株式会社 中島電機工業

この環境経営レポートは2023年10月～2024年9月までの運用期間における報告です

■ 環境経営レポートの目的

この環境経営レポートはエコアクション21の要求事項に基づいて、当社の活動を明確にし、最大の目的とする二酸化炭素を削減する為の全ての活動結果を明らかにし、また、活動結果を第3者に公表することで、当社の経営に関する取組をご評価いただくために発行する。

■ 環境経営の方針

エコアクション21の活動方針は、当社の方針の一つである「地域に貢献する」ことを念頭に、エコアクション21の活動方針にそった事業活動を推進することである。

大きくは地球規模の環境問題を我々中小企業としても取組むことで、次世代への環境保全に貢献したいと考える。

■ 対象範囲 全組織、全活動を対象にしている

(1)対象事業所： 本社・工場

(2)事業活動： 各種プリント基板・配電盤及び制御盤等の設計及び製造

■ 事業の概要

- ・各種プリント基板の設計及び製造
- ・配電盤及び制御盤等に関する設計及び製造

■ 経営理念

「前へ」

一步でも前へ進めば、必ず道が開けます

一生懸命考えて、前に進む

正しい道をまっすぐ進む

我々が前に進み成長することで、

全社員、お客様、協力企業様を

含めた幸福に貢献する

■ 沿革

昭和47年11月	足利市樺崎町に本社及び工場を建設し、自動制御機器の設計製作、修理を開始
昭和49年7月	有限会社に組織変更
昭和60年12月	足利市福富町1243に本社工場を建設、移転
平成2年6月	株式会社に組織変更
平成7年5月	足利市福富町1187-1に第2工場を建設
平成14年12月	ISO 9001:2000 を認証取得
平成21年12月	ISO 9001:2008 を認証取得
平成23年12月	EA21:2009 を認証取得
平成29年11月	ISO 9001:2015を認証取得
平成30年7月	EA21:2017を認証取得
令和03年02月	第三種医療機器製造販売業を認証取得
令和03年02月	医療機器製造業を登録

■ 事業の規模

1 事業者及び代表者名

株式会社 中島電機工業

代表取締役社長 中島健一

敷地面積 1947㎡

従業員数 30名

2 事業所所在地

本社工場 栃木県足利市福富町 1243

TEL 0284-73-0555 FAX 0284-73-0560

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

品質管理 斎藤久男

HP : <http://ndk-electric.co.jp/>

■ 環境経営方針

環境経営方針

株式会社中島電機工業は、私たちにとってかけがえのない、この地球と郷土の環境を守るために、全社員参加のもと、環境の保全及び改善に取り組んでいきます

1. 当社の事業活動であるプリント基板、制御盤関連の製造工程から発生する二酸化炭素の排出量削減に取り組めます
特に代替フロンへの2020年全廃に向けて取り組みを開始すると共に、化学物質の削減についても取り組めます
2. 当社の設計する製品の省エネルギー化、省資源化を推進します
3. 資源の有効活用を図るために、産業廃棄物の分別廃棄の促進及び削減に取り組めます
4. 当社は環境関連法規制及び県条例、市条例等の要件を遵守し、環境活動を推進します
5. この環境経営方針は全社員に周知し、知恵と創意を結集して持続的に環境活動に取り組むことを意図として、社外の第三者にも開示します

2020年4月1日

株式会社 中島電機工業

代表取締役社長 中島 健一

■ 環境経営目標

環境経営目標について2024年度までの目標値を下表に示す。

尚、取組の2024年度は2023年10月から2024年の9月とする。

項目		2020年度 基準値	2021年度 目標値	2022年度 目標値	2023年度 目標値	2024年度 目標値
二酸化炭素の排出の削減	電力の削減 kwh	56831	56263	55694	55694	51704
	ガソリン・軽油の使用量削減 L	灯油 681 ガソリン 2705 軽油 3676	灯油 719 ガソリン 2678 軽油 3639	灯油 720 ガソリン 2651 軽油 3602	灯油 720 ガソリン 2651 軽油 5146	灯油 1410 ガソリン 3720 軽油 3648
	二酸化炭素排出量 kg-CO ₂	44459	44014	43570	44459	47406
産業廃棄物の削減	一般ゴミの削減 kg	288	285	282	282	201
	新規購入コピー用紙の削減 kg	296	293	290	329	305
	電線くずの削減 kg	162	160	159	159	59
化学物質の削減	代替フロンの削減 kg	0	0	0	0	0
総排水量	水道水の節水 m ³	206	206	206	206	394
環境への設計配慮件数		12	12	12	12	12

* 二酸化炭素排出係数は0. 505kg-CO₂/kwhを使用する。

* 2023年度以降は、前年度の実績を踏まえ、見直し後の目標値。

■ 環境経営計画

主な目標に対する環境経営計画を次に示す。

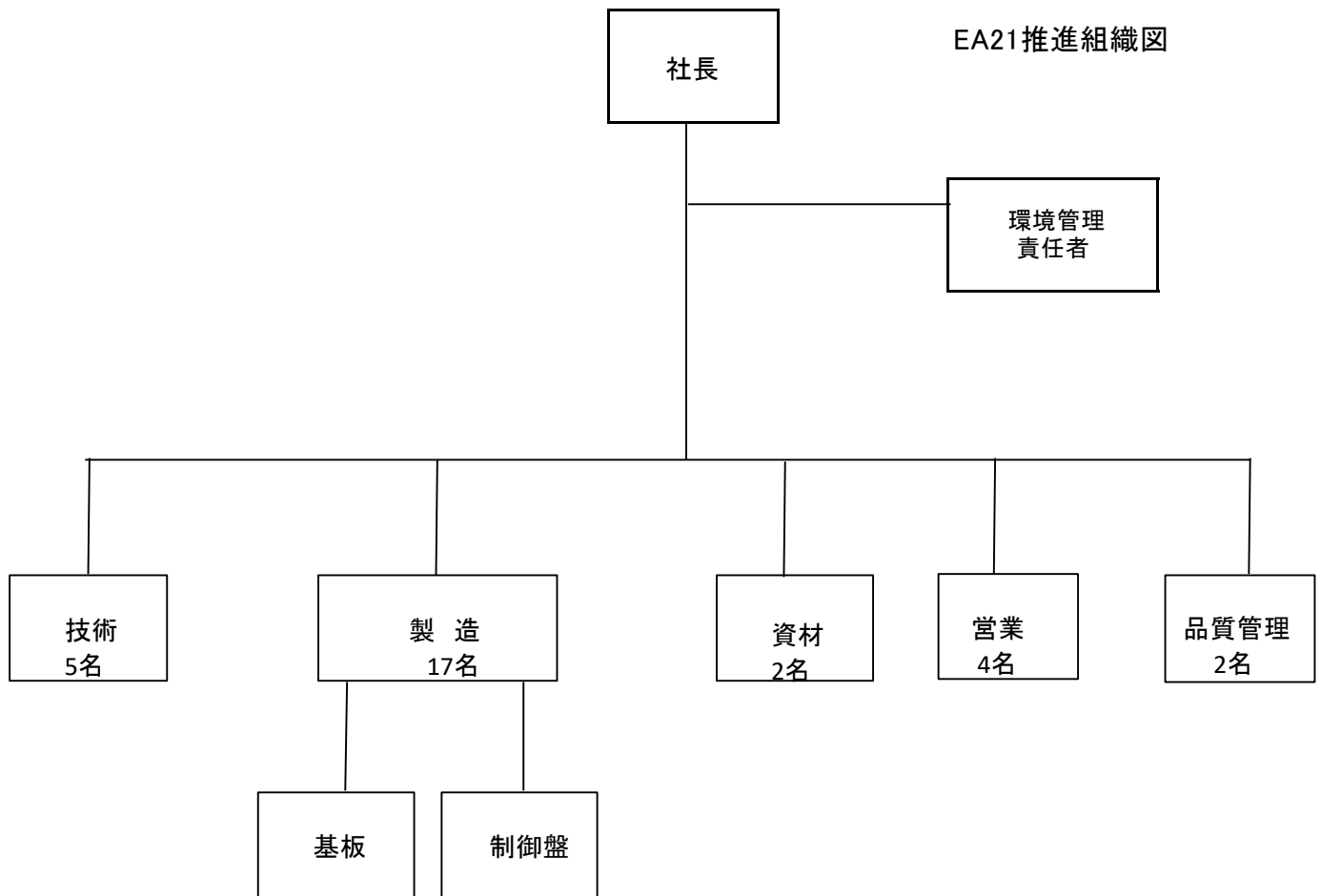
項 目		活 動 内 容
二酸化炭素排出量の削減	1. 電気の使用量	1. 未使用室の照明及びエアコンは使用しない。 2. エアコンの設定温度は、夏は27度、冬は18度とする。 3. 作業ミス等の修正時間を削減する活動を徹底する。 4. 2020年度の総電力を基準とする。 5. 2015年度から社有車のエコ運転活動を徹底する。
産業廃棄物の削減	1. 一般廃棄物の削減	1. ゴミの計量を徹底すると共に、資源ごみへの転換を図る。 2. ゴミの分別を徹底する。
	2. コピー用紙の削減	1. 社内用の資料は極力一度使用した裏を利用する。 2. ISO、EA21関連の記録は、極力電子媒体に移行し管理する。
	3. 電線クズの削減	1. 電線クズのゴミを分別する。 2. 電線くずを削減する為に配線の引き回しに注意し、端材を最小にすると共に再利用する。 3. 電線の切断は全長より10cm以下を目安に切断する。
化学物質の削減	1. 代替フロンの削減	1. 設備の廃止撤去を昨年9月実施。 今後は維持継続活動を強化する。 2. エアコンのフロン拡散防止のため、設備の定期点検をする。
製品・サービスに関する項目	1. 当社の設計に関する環境提案	1. リサイクルを考慮した設計提案を実施する。 2. 有害物質を使用していない部品を選定する。

* 2020年10月から目標を変更し活動を実施する。

* 2023年度から前年度の実績を踏まえて目標を変更する。

環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制を含む)

- ・前ページに示す活動内容の通り実施した。
- ・実施した体制は以下の通りである。



役割と責任

社長	環境管理責任者を任命する 環境経営方針を制定する 推進に必要な要員、技術、資金等を準備する 環境経営システムに必要な文書及び記録を承認する 環境経営システム全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者	環境経営システム取り組みの実行責任者として活動を推進する 環境への負荷及び取り組み自己チェックの実施リーダーとして活動する 環境経営目標及び環境経営計画を策定し社長の承認を得る 環境経営目標及び環境経営計画の達成状況や実施状況を確認、評価し社長へ報告する 環境法規の最新版管理や遵守状況の確認をする 外部からの苦情や要望を受け付ける窓口になる 教育訓練の実施リーダーを受け持つ 文書、記録を管理する 代表者による全体の評価と見直しのための情報を報告する 副管理責任者は管理責任者を補佐し、データのまとめや情報の収集を行う
推進責任者	環境経営計画に準じて部門の推進を行う 推進者に与えられた環境負荷を集計し、管理責任者に報告する 環境に関する情報を収集し、検討する 自部署の環境経営目標達成のための問題点が発生した場合に、それを解決する
社員	環境経営計画の担当者として実行する 環境に関連するルール、取り組み事項を自発的、積極的に実施する 環境経営目標達成のための問題点が発生した場合に、推進委員に報告する

■ 環境経営目標の実績

環境経営目標と実績は以下の通りである。

環境経営目標活動期間 2023年10月～2024年9月末時点の状況

	項 目	2024年度 目標値	2024年度 実 績	結 果	達成率(%)
二酸化 炭素排 出量	総電力量の削減 kwh	51704	43420	達成	119
	ガソリン・軽油の 使用量削減 L	灯油 1410 ガソリン 3720 軽油 3648	灯油 2266 ガソリン 3712 軽油 3970	灯油 未達成 ガソリン 達成 軽油 未達成	灯油 62 ガソリン 100 軽油 92
	二酸化炭素排出量 kg-CO2	47406	46424	達成	102
産業廃 棄物削 減	一般ゴミの削減 Kg	201	250	未達成	80
	コピー用紙を削減する kg	305	264	達成	115
	電線クズの削減 kg	59	88	未達成	67
化学物 質削減	代替フロンの削減 kg	0	0	達成	100
総排水 量削減	水道水の節水 m ³	394	564	未達成	70
環境 配慮	環境への設計配慮	12	12	達成	100

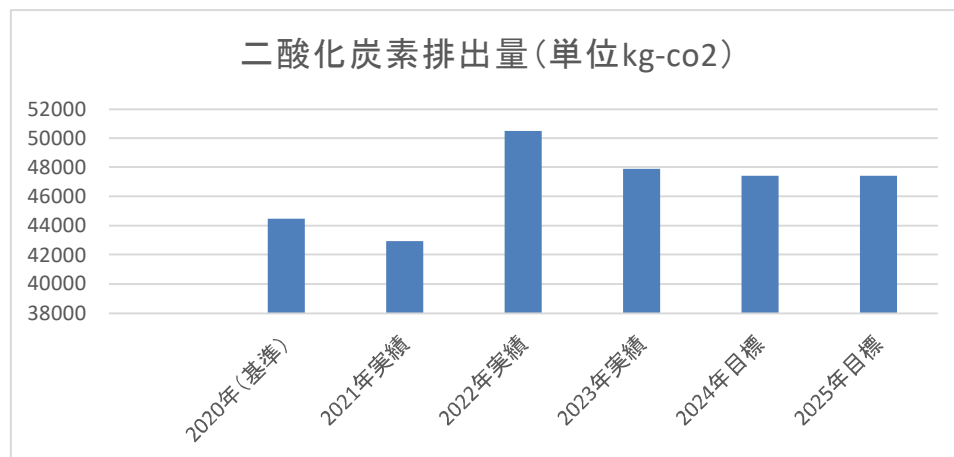
■ 環境活動の取組結果とその評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

電力は達成、燃料は未達成

二酸化炭素排出量は達成率で102%

年度	2020年(基準)	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年目標	2025年目標
二酸化炭素排出量(単位kg-co ₂)	44459	42920	50487	47885	47406	47406



(2) 廃棄物排出量の削減

- ・一般ゴミ、電線くず共に目標未達成、再度見直しをします。
- ・コピー用紙は達成率115 %と良好でしたが更に電子化を進めていく予定です。

(3) 化学物質の削減

- ・フロン撤廃については引き続き撤廃継続を目標としています

(4) 水道水の節水

防水試験等、水を扱う仕事が多く目標未達成です。目標値の見直しを含めて節水していきます。

(5) 環境への配慮件数

設計段階で環境配慮は常実施していますので同様設計は1回/月としました。

■ 年度の取組内容

☆二酸化炭素の排出量が目標値内に抑える活動を次の通り継続とする。

- (1) 今後、電力使用量の増大に注意をする。特に暖房に多くの電力を必要とするため、設定温度を遵守するよう啓蒙を図ると共にストーブを活用でバランスをとる。
- (2) ガソリン及び軽油の節約を検討する中で、アクセルの踏み方、急発進、急ブレーキ等運転方法の見直しを繰り返す。渋滞を極力避け、道路状況を確認しながら運転をし削減活動を維持、継続する。
- (3) 厳寒期に石油ストーブを使用するので、灯油の使用料の管理を強化する。

☆総排水量の目標の見直し設定をし、活動を継続する。

防水試験及び研究実験用水の節約改善を継続する。

☆社用車用の燃料について、ガソリンは目標達成。軽油は目標未達成であるので目標を見直したい。

☆フロンについては、「代替フロンの全廃は、2020年9月に実施しました。

代替フロンの全廃は、維持活動として継続していく。」

☆目標未達成の項目について、目標見直しも重要であり、全社員に通知意識付けを図る。

■ 環境関連法規等の遵守の状況確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守チェックをした結果不適合はなし、
違反及び訴訟もありませんでした。

主要な法令

- | | |
|--------------------|-------------|
| ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | ・ 有機溶剤中毒予防法 |
| ・ 消防法 | ・ フロン排出抑制法 |
| ・ 浄化槽法 | ・ RoHS指令 |

■ 酒帯び確認記録表を作成し、記録をしています。

■ 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度も特にエアコンの消費電力の削減に注力しましたが
夏の記録的な猛暑の為、熱中症予防、作業効率低下防止の観点からエアコンを適切に
使用しました。
地球温暖化の傾向も踏まえて、各目標の見直しをすると共に、
活動の維持、継続を進めていきたいと考えています。

代表取締役 中島健一

以上